



岡本 眞利子  
議員  
(政風クラブ)



子どもの読書活動は言葉を通じて、感性を磨き、表現力を高め想像力を豊かにし、人生をより深く生きる力をも身につけていく上で欠くことができないものである。しかし、現状はテレビ、ビデオ、ネット等の様々な情報メディアの普及により「読書離れ」が指摘されている。

以下について伺う。

- ① 本町の小・中学校の読書に対する教育方針について。
- ② 各学校図書館の整備状況は。
- ③ 図書館札内分館での乳幼児、園児への配慮整備について。

**教育長** ①「第2期幕別町子ども読書推進計画」を策定し、各教科、特別活動、総合的な学習の時間を通じて学校図書館を活用した多様な学習の推進などを盛り込み、基本的な考え方や具体的な取組を掲げて、学校全体で共通理解を持ちながら、図書教育を推進している。

## 問 子どもの読書活動推進の取り組みは

子どもの読書離れにより学校図書館の果たす役割が大きくなっている

②「学校図書館図書標準」に対する達成状況では、本年5月1日現在で、小学校9校では蔵書数は48552冊、充足率では80%、中学校5校では蔵書数は37996冊、充足率では88%となっている。③札内分館の中に新たに乳幼児の専用スペースを設けることや、他の部屋を転用することは難しいため、読み聞かせのコツや本の選び方などを保護者に伝えることで、家庭読書の推進に力を注ぎたい。

## 問 学校における食育の推進は

健全な心と身体を培い豊かな人間性を育む基礎となるもの

**問** 近年、偏った栄養摂取、朝食欠食などの乱れや肥満、痩身傾向など子ども達の健康を取り巻く問題が深刻化している。

最近では、給食のあり方も見直されてきており、「地産地消」の推進は健康で豊かな食生活の実現、

地域の産業を学び教育的効果に結びつく。現在注目を集めているのが「弁当の日」である。

①幕別町の小・中学校において「弁当の日」実践の取り組みについて。

②今後の学校給食への新しい取り組みの考えについて。

**教育長** ①「弁当の日」の取り組みについては、学校や保護者・PTAの共通認識と理解、協力が不可欠と考えているが、食育を推進する上で大変有意義なことでもあるので、実施内容や方法について、学校給食センター運営委員会や関係団体にはかるなどして、研究していきたい。

②他市町村の事例では、児童生徒や保護者を対象に農産物を使った調理体験教室や、学校給食の調理場見学と試食会、バイキング形式の給食の提供などを行っていて、今後学校、保護者などの意見も伺い、検討していきたい。



図書館札内分館児童書コーナー

**再質問** ①読書活動について具体的な取組みは。

②札内分館での「読み聞かせ」のスペースがないため、ほかのスペースの周知をしているのか。

③栄養士が考えた献立ばかりではなく、子ども達が自ら考えた献立の導入は。

**答** ①「朝読書」と「読み聞かせ」の取り組みを実施している。

②ボランティアグループの読み聞かせ等については、年間の予定日を百年記念ホールと調整し、部屋の確保をしている。

③食育の一環として有効であるのであれば、物理的なものも含めて、協議、検討をしていきたい。